

松井地区の歴史遺産と東川の桜並木を歩く

2022.3.28 記 梅津 博紀

開催日時 2022年3月24日(木) 9:30~12:30

参加者:16名(男性11名、女性5名)

集合場所・時間:西武新宿線 航空公園駅東口YS11 前広場 9:25

はじめに

松井地区は先駆的な試みとして文化歴史遺産・自然環境遺産認定委員会を立ち上げ、今までに37カ所を認定し、その証としてワインレッドの遺産認定標識を設置しています。今回は6カ所の文化歴史遺産と2カ所の自然環境遺産を巡りました。

コース

航空公園駅⇒①熊野神社鳥居大蛇⇒②下新井学校跡 学校橋・精華の梅・枝垂桜⇒③東川の桜並木⇒④文久2年造の長屋門(市内3つのうちの一つ)⇒神明神社⇒⑤銅造薬師如来立像(元弘2(1332)年造)⇒⑥長栄寺 関東一の木造大閻魔像(トイレ休憩 近くの「うしぬま荘」)⇒⑦狭山茶畑⇒⑧松井まちづくりセンター(松井中学校跡) *数字は松井地区の文化歴史遺産・自然環境遺産

散策記録

○航空公園駅東口を出てYS11のある広場(9時25分集合)

雨が心配されていましたが、当日は晴天となり絶好のウォーキング日和でした。集合時間の9時25分には全員が集合しました。出発に先立ち、資料として松井まちづくり協議会から発行された「まついむら文化歴史遺産・自然環境遺産ガイドブック」が配られました。今回の活動はEグループ担当で、文化歴史・自然環境遺産の認定にも携わったEグループの國谷征治さんが行程全てを解説されました。

9時30分航空公園駅間前を出発し、航空公園内をのんびり歩きながら一番目の目的地である熊野神社を目指しました。

○熊野神社（9：50 着）

熊野神社の鳥居に飾られている稲わら製の大蛇の由来の説明があった。古くから信仰の対象とされており、毎年氏子により作成されています。ここから東川の桜並木に沿ってのウォーキング開始です。ソメイヨシノは1～2部咲でしたが、河津桜や早咲きの桜が満開で春を感じ取ることができました。10分位歩くと東川沿いの下新井学校跡に到着しました。



熊野神社：稲わら大蛇が飾られている鳥居をバックに

○下新井小学校跡（10：20 着）

跡地は今民家となっていますが、下新井小学校は明治7年に開学し、その後精華学校、松井小学校へと変遷していきました。近くにある「学校橋」、「精華の梅」も歴史遺産です。さらに東川の桜並木に沿って長屋門に向かいました。

○長屋門（越阪部家：10：40 着）

東川から少し航空公園よりにそれ、越阪部家の長屋門に着きました。ここの長屋門は所沢に三つあるうちの1つです。民家であるため中は見学できませんが、江戸時代後期の建築で日本の伝統的な門様式を外から眺めました。東川沿いの道路から離れ、「牛沼市民の森」の中央にある神明神社へ向かいました。



越阪部家長屋門

○銅造薬師如来像（11：10 着）

銅造薬師如来像は牛沼市民の森の片隅にある本薬師堂に鎮座していました。牛沼地区の越阪部氏総本家に代々伝わる仏像で元弘2年（1332年）に造られました。ここから老人福祉センターうしぬま荘へ向かい休憩後、長栄寺を目指しました。



東川の河津桜（うしぬま荘近く）

○長栄寺（木造大閻魔像、11：20 着）

長栄寺は真言宗豊山派の寺院で、閻魔堂に関東一の大きさと言われ高さ2.9mの木造漆喰塗の閻魔像が祀られていました。いよいよ最終目的地の松井まちづくりセンターへ向け出発です。途中、牛沼地区でお茶製造業を営んでいる荒田園と鍛冶屋園の狭山茶畑（自然環境遺産）の間を抜けていきました。



長栄寺閻魔堂前にて

○松井まちづくりセンター（12：00着）

松井まちづくりセンターは旧松井中学校の跡地あることの説明を受け、これで散策を終わることになりました。



牛沼の狭山茶畑

おわりに

まん延防止等重点措置が終了し、今年初めてのフィールドワークとなりました。天候にも恵まれ、東川沿いのソメイヨシノはまだ咲き初めでしたが、春の陽を浴びながら満開の河津桜、花桃などを楽しみながら散策できました。今回は松井まちづくり協議会が認定した文化歴史・自然環境遺産37カ所うち8カ所を巡り歴史・自然遺産の一端に触れることができました。貴重な資料を提供いただき感謝申し上げますとともに、松井地区の取り組みに敬意を表したいと思います。松井地区のこのような取り組みが他の地区にも広がり、地域に埋もれている文化歴史遺産や自然環境遺産が掘り起こされ、地区の児童・生徒の身近な地域の理解にも役立ち、ひいては後世に伝えられていくことを願っています。

担当 Eグループ 國谷、梅津、小川、安田、田口、恩田、上村、西脇、田沼

*アンダーライン 今回の主担当者